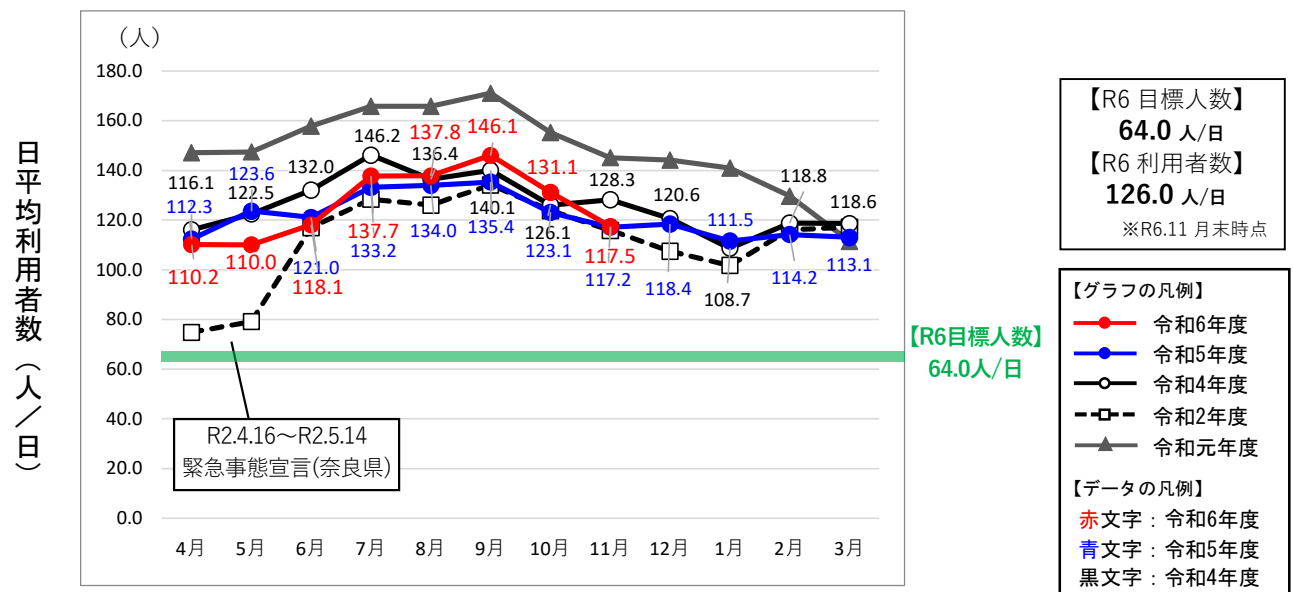


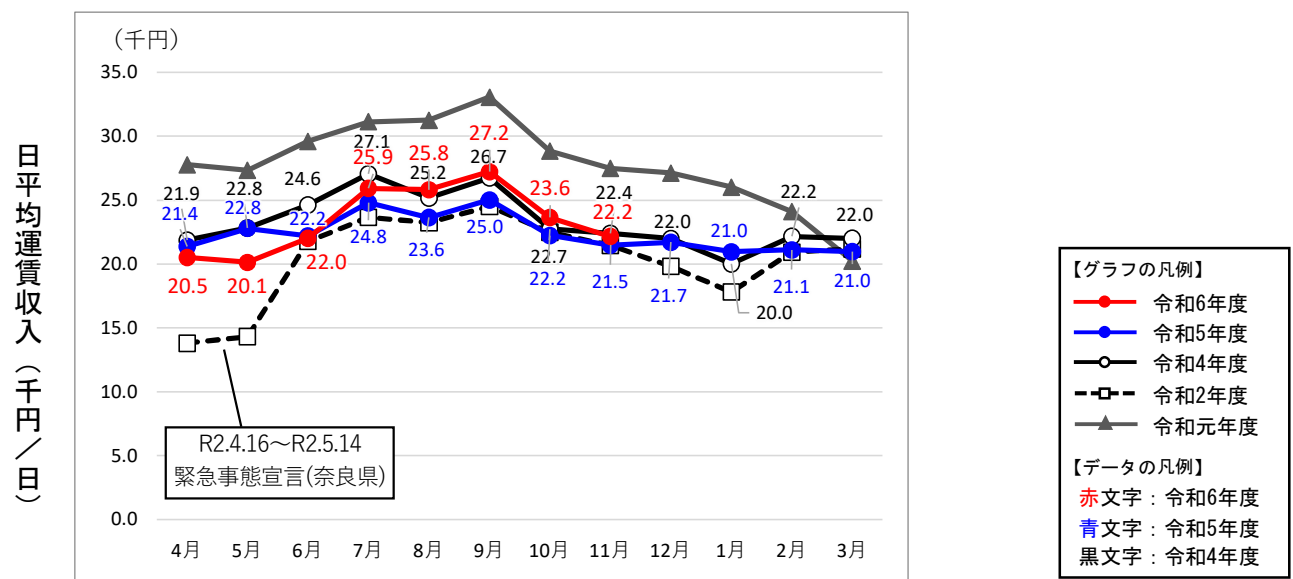
1. 光陽台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年4月及び5月は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は一部回復し、季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。令和6年4月以降は9月までは増加傾向にあり、令和6年10月以降は減少しているが、前年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、令和6年4月以降は9月までは増加傾向にあり、令和6年10月以降は減少しているが、前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

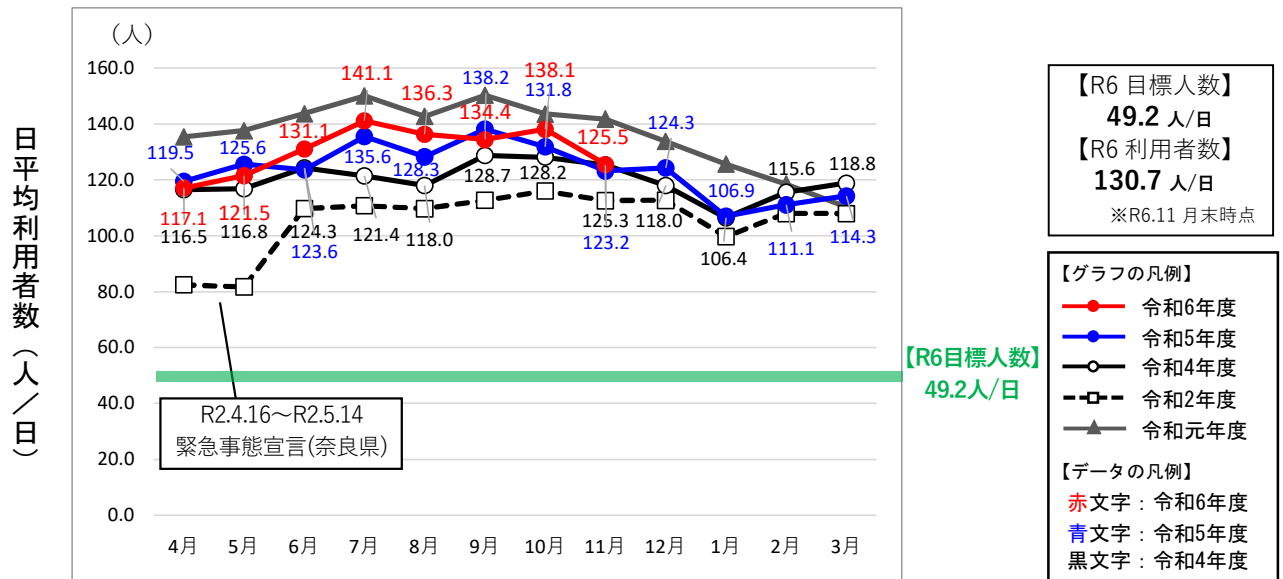


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

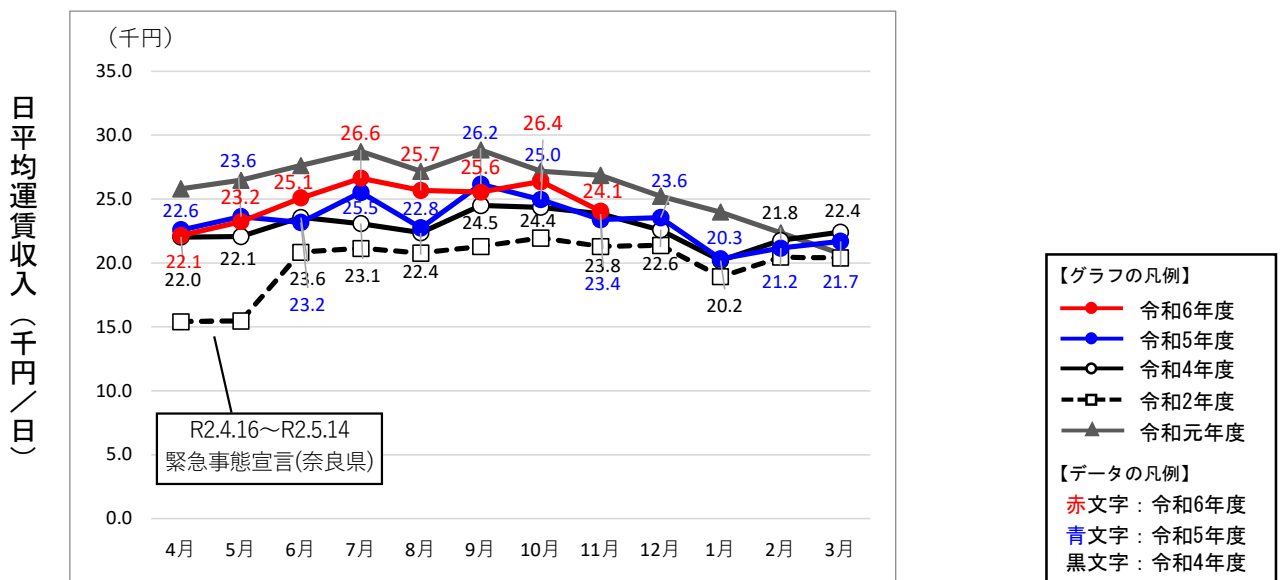
2. 門前線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和2年4月及び5月は大きく減少していたが、解除された令和2年6月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ年々増加傾向にある。令和6年8月以降は減少傾向にあるが、令和6年9月を除き前年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃）は、利用者数と同様に、令和6年8月以降は減少傾向にあるが、令和6年9月を除き前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

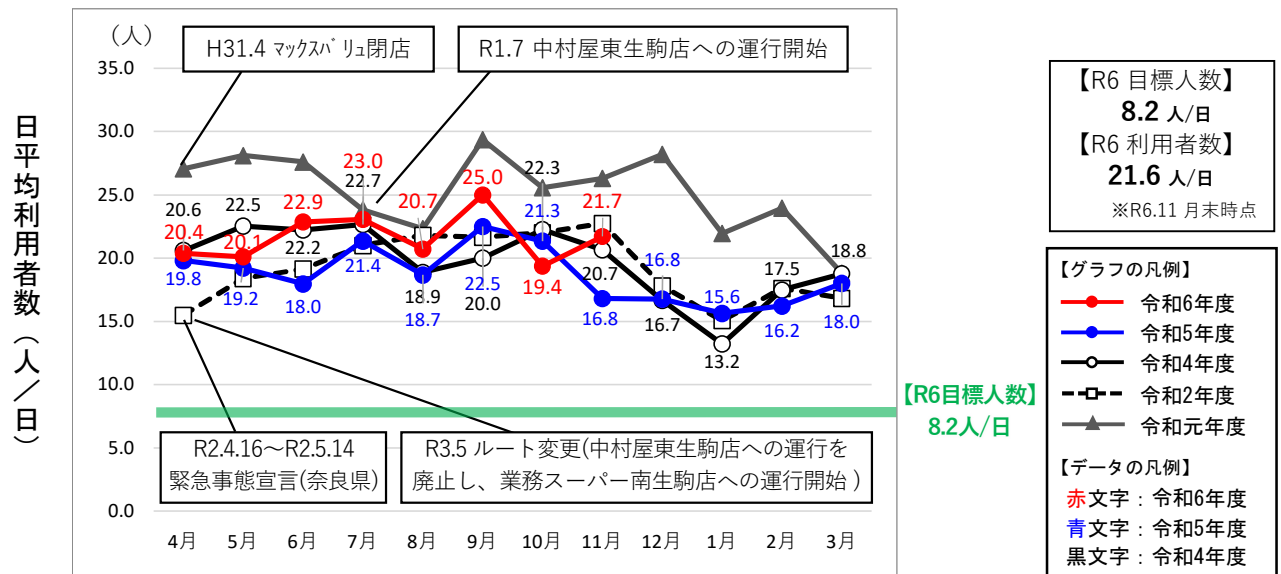


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

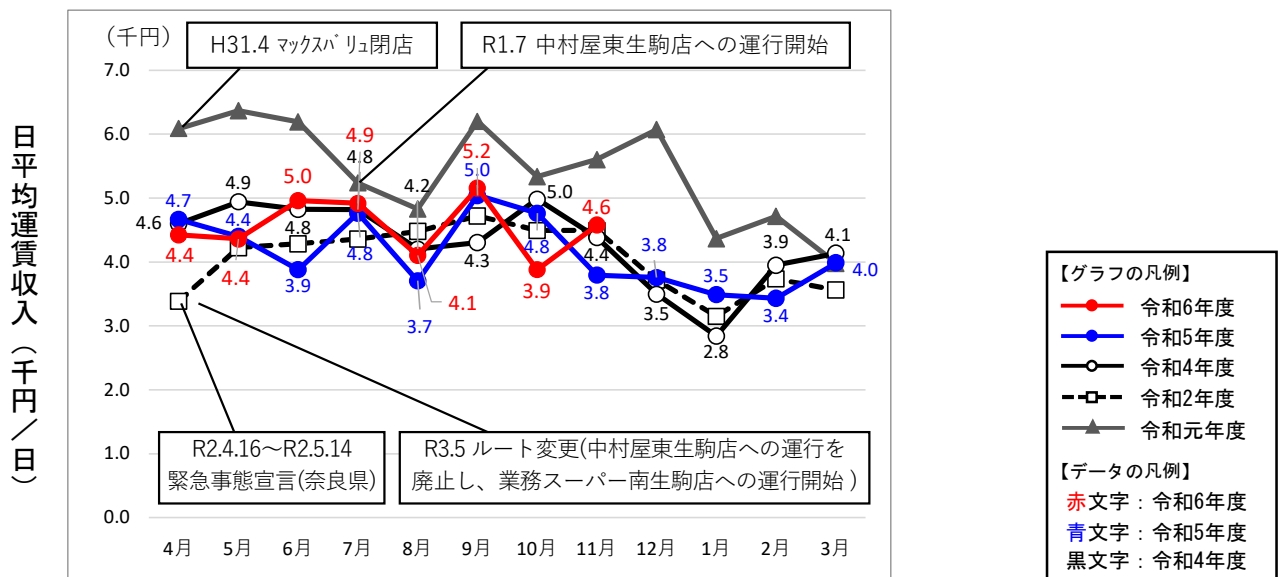
3. 西畑・有里線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和2年4月及び5月は大きく減少していたが、解除された令和2年6月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。令和6年9月は前月から増加し、令和6年10月は減少したものの、令和6年11月は再び増加し、前年同月を上回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、令和6年9月は前月から増加し、令和6年10月は減少したものの、前年同月を下回っていたが、令和6年11月は再び増加し、前年同月を上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

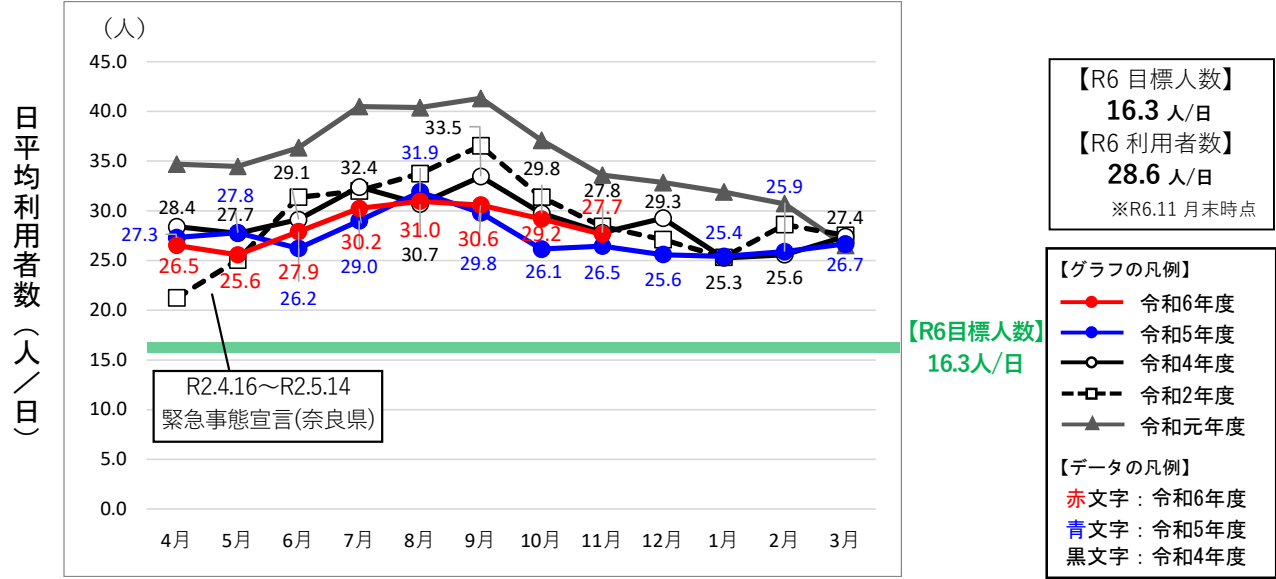


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

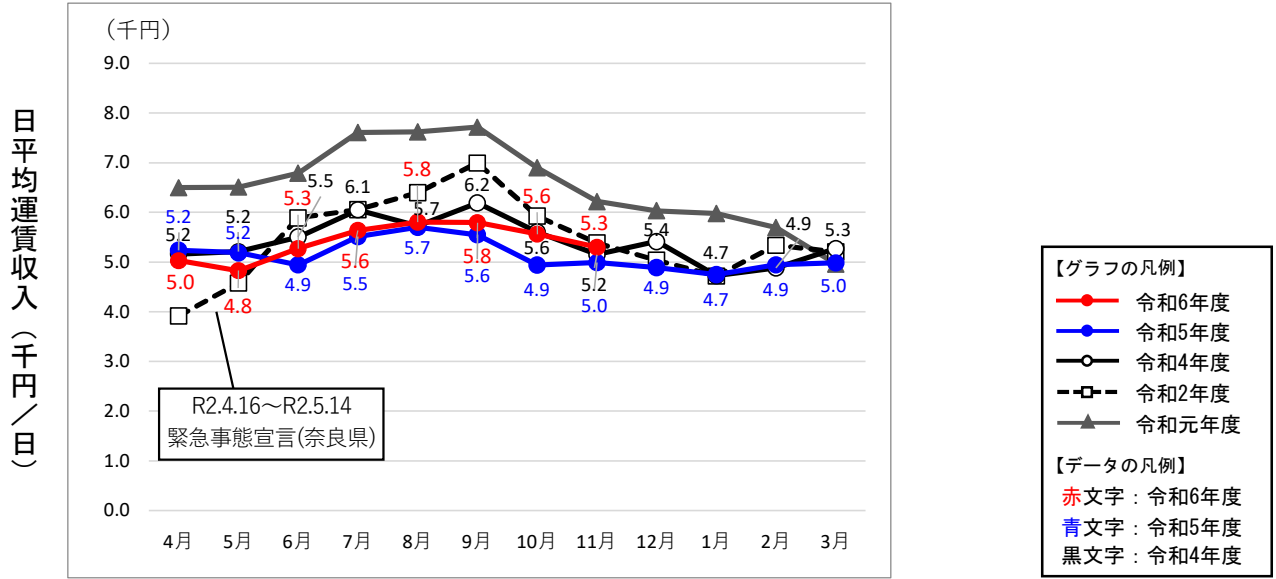
4. 北新町線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和 2 年 4 月及び 5 月は大きく減少していたが、解除された令和 2 年 6 月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。令和 6 年 5 月から 8 月までは増加傾向にあり、令和 6 年 9 月以降は減少傾向にあるが、前年同月を上回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、利用者数と同様に、令和 6 年 5 月から 8 月までは増加傾向にあり、令和 6 年 9 月以降は減少傾向にあるが、前年同月を上回っている。

【月別の 1 日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の 1 日あたりの平均運賃収入の推移】

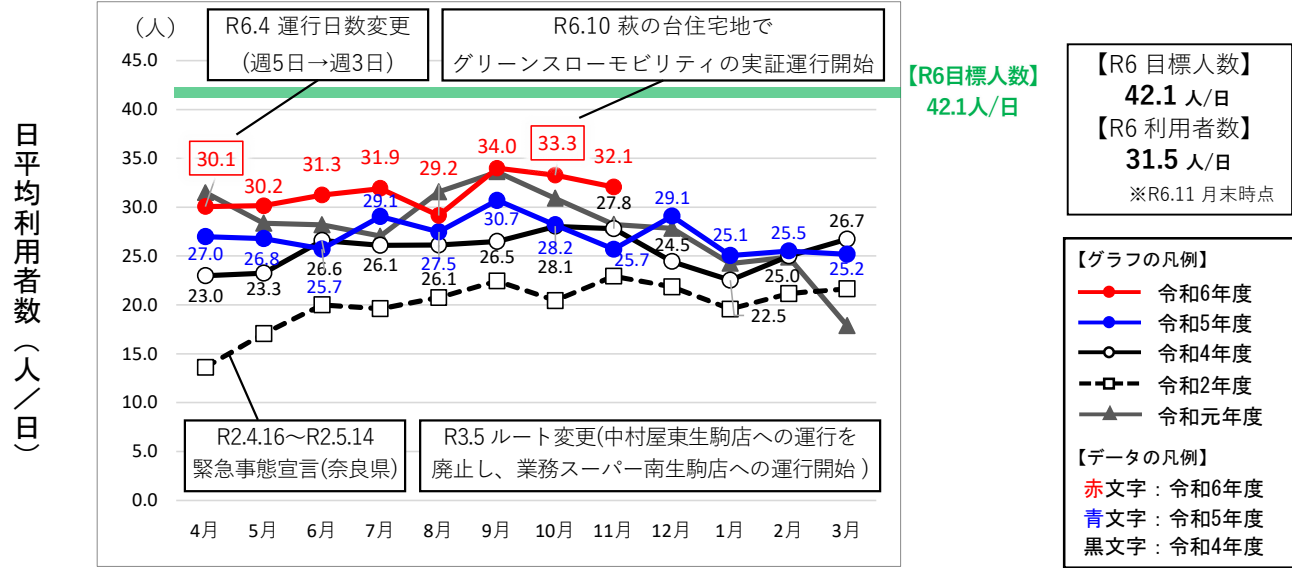


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

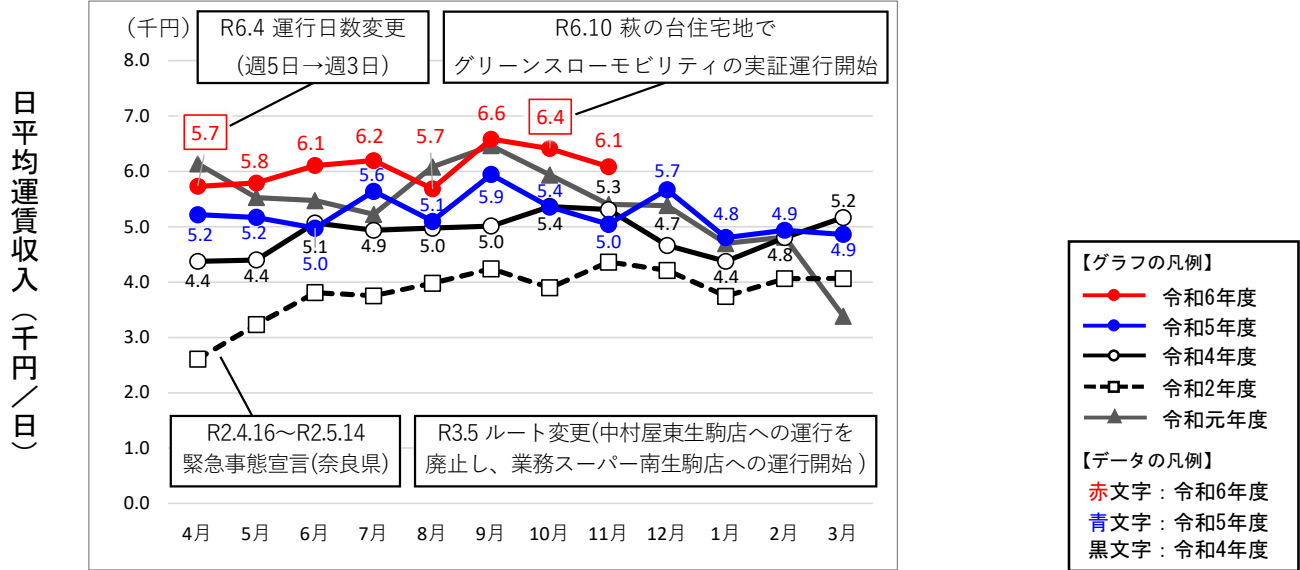
5. 萩の台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、緊急事態宣言が発令された令和 2 年 4 月及び 5 月は大きく減少していたが、解除された令和 2 年 6 月以降は季節変動等の影響による増減を繰り返しつつ利用者数を維持している。運行日数を週 3 日に縮小した令和 6 年 4 月以降は増加傾向にあり、前年同月を上回っている。萩の台住宅地においてグリーンスローモビリティの実証運行を開始した令和 6 年 10 月以降はやや減少傾向にあるが、前年同月及びコロナ禍前の令和元年同月を上回っている。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に、令和 6 年 5 月以降は前年同月を大きく上回っており、令和 6 年 10 月以降はやや減少傾向にあるが、前年同月及びコロナ禍前の令和元年同月を上回っている。

【月別の 1 日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の 1 日あたりの平均運賃収入の推移】

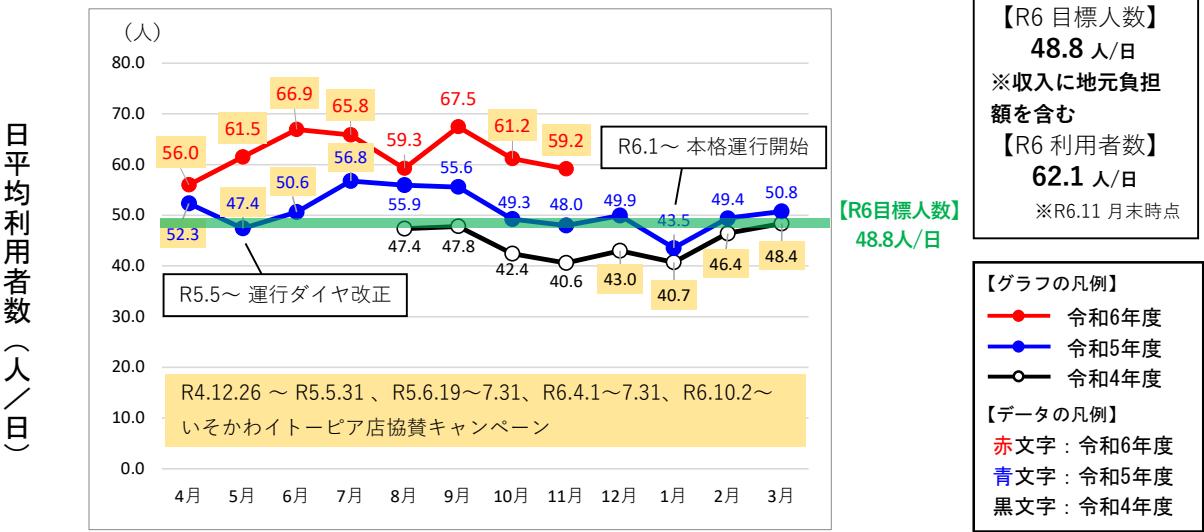


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

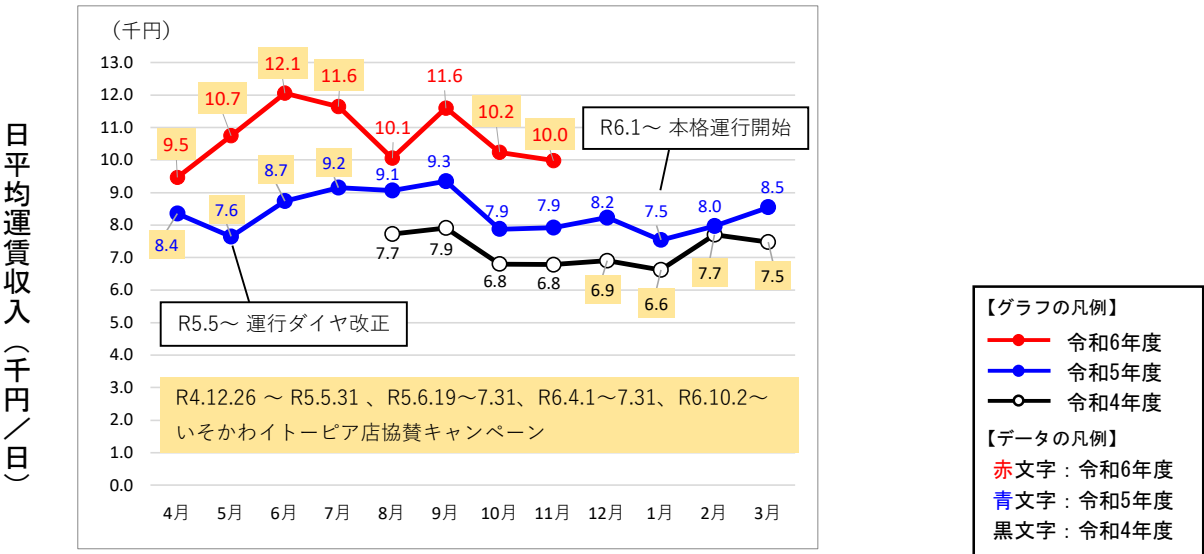
6. 鹿ノ台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、本格運行を開始した令和 6 年 1 月以降は増加傾向にあり、特に地元スーパー協賛のキャンペーンを実施した令和 6 年 7 月までは前年同月を大きく上回っており、キャンペーンが終了した令和 6 年 8 月は前月から減少した。令和 6 年 9 月は増加し、キャンペーンが再開された 10 月以降は減少したが、いずれも前年同月を上回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、利用者数と同様に、本格運行を開始した令和 6 年 1 月以降は増加傾向にあり、特に地元スーパー協賛のキャンペーンを実施した令和 6 年 7 月までは前年同月を大きく上回っていたがキャンペーンが終了した令和 6 年 8 月は前月から減少した。令和 6 年 9 月は増加し、キャンペーンが再開された 10 月以降は減少したが、いずれも前年同月を上回っている。

【月別の 1 日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の 1 日あたりの平均運賃収入の推移】

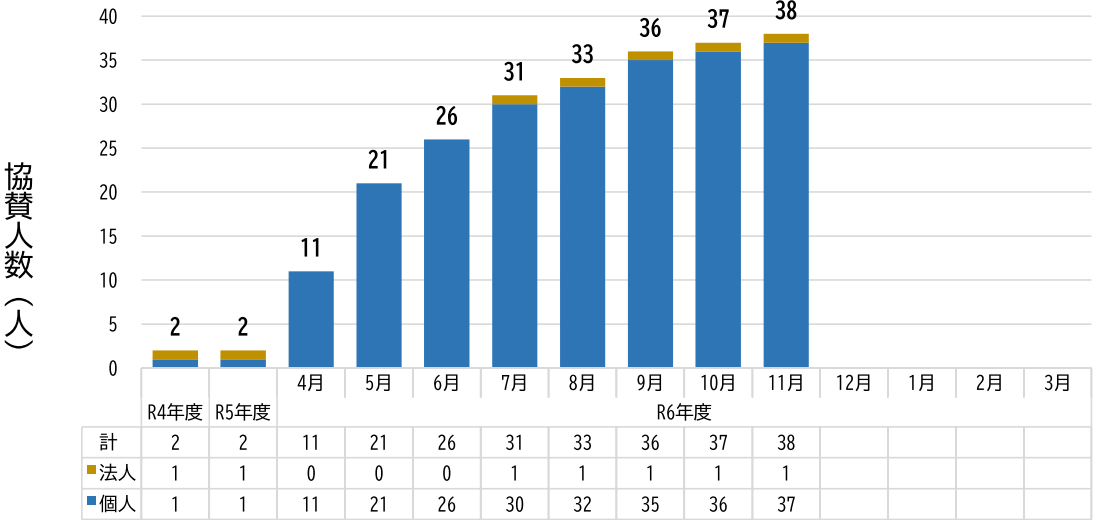


※運賃収入＝現金収入（回数券利用はなし）

7. コミバス「たけまる号」サポーター制度の申込状況

- ・生駒市では、地域の足である「たけまる号」を住民や法人の皆様と一緒に支えていく制度として、令和 4 年 4 月 1 日からコミバス「たけまる号」サポーター制度を導入している。個人は 1 口 500 円、法人は 1 口 5,000 円から申込可能で、応援したい路線に対する協賛口数を指定することができる。サポーター（協賛者）は希望すると市 HP やバス車内に名称掲載が可能となる特典がある。
- ・令和 4 年度は協賛人数が計 1 名、協賛法人数が計 1 社、協賛金額が計 26,000 円、令和 5 年度は協賛人数及び法人数は前年度と同じ、協賛金額が計 31,000 円であった。
- ・サポーターを増やしていくための令和 5 年度の実施として、オンライン申請導入、チラシを作成しバス車内や各公共施設へ配布、広報誌への掲載等を行った。
- ・令和 6 年度の申込状況は、11 月末時点で協賛人数が計 38 名（個人 37 名、法人 1 名）、協賛金額が計 152,000 円である。

【協賛人数・法人数の推移】※各月の積み重ね



【協賛金額の推移】※各月の積み重ね

